

研究構想シート	学校名	津和野町立木部小学校
	氏名	小田川さつき

A 研究主題 子どもも大人も共に育つ学びの協働～キャリアパスと3プロの一体的な実践を通して

B 研究の目的 「木部っ子学びの協働プロジェクト～みんなで いっしょに 3プロ ぐん!～」の実践により、学校教育目標に掲げるめざす児童「伝え合う子」「支え合う子」「たくましい子」の具現化を図る。

C 子どもの実態  
 ○とても人なつっこく、素直。  
 ○言われたことは、一生懸命にやるが、主体的に考え取り組むことは苦手である。  
 ○めあてに向かって、取り組む姿勢は素晴らしい。しかし、一つの行事での成長が、日々の学習や生活の中で活かしたり、1年間の自分の成長を認識したりしていない様子。自信がない児童が多い。  
 ○自分の思いや考えを失敗を恐れることなく伝え、みんなでよりよいものを作っていくことは苦手を感じる児童が多い。  
 ○自分の得意・苦手を認識しているようでしていない。人に頼ることにもまだまだ抵抗がある。

E 手立て・内容（研究仮説）  
 ①ねらいの明確化・共有化（子ども・教職員・地域）  
 ②めざす子ども像の具体的な姿を意識した大人のかかわり方の工夫（めあてを立てる場面・活動中・ふり返り等）  
 ③キャリアパスポートと関連付けた自分の成長を実感できるワークシート（めあて・ふり返り）や『がんばったのう～シール』の工夫  
 ④児童が主体となる〇〇プロジェクトの実施  
 ・3プロ…総合的な学習の時間・生活科  
 ・3プロ以外…係活動・委員会活動・家庭学習・地域活動

F 検証方法  
 ○年に3回、児童アンケートを行う。（タブレットで）地域・保護者へのアンケート（学校評価）も行う。  
 ○各行事の4段階での評価と感想等（◎が全体の80%以上をめざす）  
 ①学級で、めあてを立てる。  
 ②事前に地域の方とねらいを共有(担当者)  
 ③その場で、めあての共有と振り返り（児童・地域の方）  
 ④学級で、振り返りカード記入

D めざす子どもの姿  
 ①自分の考えをもち、他者と主体的にかかわり課題を解決する子（伝え合う子）  
 ②自分や他者のよさを出し合い、苦手を補い合って助け合う子（支え合う子）  
 ③つきたい力を意識して、粘り強く取り組む子（たくましい子）

G 研究計画			
4月	研究職員会	9月	稲刈り・運動会
	第1回アンケート	10月	いもほり・やきいもパーティー
5月	地区民運動会	11月	近県音楽コンクール
	田植え・さつまいも植え		学習発表会
	交通安全教室	12月	第3回アンケート
	第1回学校運営協議会		しめ縄作り
6月	人権の花・プール掃除	1月～3月	研究職員会まとめ 来年度に向けて
7月	第2回アンケート		スキー遠足・ふれあい集会
夏季休業	研究職員会1学期ふり返り	2月	第3回学校運営協議会